

ふくしに大切な「ふれあい」と「ささえあい」

「ふくし」とは、みんなが「笑顔」で暮らすための「ふくし」

みんなが暮らすためには、障害のある人や高齢の人、赤ちゃんを育てている人など、いろいろな理由で助けが必要の人がたくさんいます。「ふくし」とは、このように助けが必要な人も、みんなが安心して「笑顔」で暮らせるようにする取り組みや行動のことです。



3年1組 島田真緒さん



3年2組 橋本咲良さん



4年1組 桑陽斗志さん



4年2組 平野大志さん

障がい者活動センター「若草園」

障がい者施設は、障がいのある人がいきいきと仕事をしたり、みんなを楽しく過ごしたりするためにあります。「障がい者活動センター「若草園」では、さまざまな障がいのある人たちが、手帳やクリップなどの文具を作ったり、器具を使って運動したりしています。



障がい者施設は、障がいのある人がいきいきと仕事をしたり、みんなを楽しく過ごしたりするためにあります。「障がい者活動センター「若草園」では、さまざまな障がいのある人たちが、手帳やクリップなどの文具を作ったり、器具を使って運動したりしています。

角田総合老人センター

市内には、おじいちゃん・おばあちゃんが集まって遊んだり、学んだり、おしゃべりしたりできる場所がたくさんあります。その中の一つ、角田総合老人センターでは、たくさんのおじいちゃん・おばあちゃんが体を動かしたり、将棋をしたりして楽しんでいました。



1面の写真は、みんなが安心して暮らすための「ふくし」の取り組みです。知っていることはあったかな？

▼「認知症サポーター」がいるお店などに書かれている「ふくし」のマーク。	▼目の不自由な人が足の感覚を確認できる「点字ブロック」。駅のホームでは一本線の点字ブロックが安全な間と危険な間の境界を示しています。	▼市内には5つの「子育て支援センター」があり、子育て中の親子と赤ちゃんが集まって遊んだり、情報交換したりしています。	▼地域の見守り活動「愛ガード」。先よくあいさつしよう。
▲車いすやベビーカーが乗り降りしやすいように階段をなくした「ノンステップバス」。	▲エレベーターの扉にあるボタンは、車いすの人が後ろ向きに出る際に後ろの安全を確認するためにあります。	▲階段などの横に段差のない「スロープ」(坂道)があると、車いすやベビーカーも通ることが出来ます。	▲信号が青に変わると音が流れ、目の不自由な人に渡りやすくなるように音が鳴るものもあります。
▲おなかや赤ちゃんの顔を伝える「マタニティマーク」。電車やバスの中で見かけたら座席をゆずろう。	▲目の不自由な人のために、犬の顔を手に持った状態で伝える「手話」(写真左)と、文字で書くことによる「手話」(写真右)。	▲エレベーターの扉にあるボタンは、車いすの人が後ろ向きに出る際に後ろの安全を確認するためにあります。	▲信号が青に変わると音が流れ、目の不自由な人に渡りやすくなるように音が鳴るものもあります。
▲おなかや赤ちゃんの顔を伝える「マタニティマーク」。電車やバスの中で見かけたら座席をゆずろう。	▲目の不自由な人のために、犬の顔を手に持った状態で伝える「手話」(写真左)と、文字で書くことによる「手話」(写真右)。	▲エレベーターの扉にあるボタンは、車いすの人が後ろ向きに出る際に後ろの安全を確認するためにあります。	▲信号が青に変わると音が流れ、目の不自由な人に渡りやすくなるように音が鳴るものもあります。

子どもたちも認知症サポーター

みんなの笑顔が一番の薬

「認知症」とは、脳がうまく働かずに、ものごとを覚えられなくなったり、忘れられたりする状態のことです。もし、自分のおじいちゃんやおばあちゃんが、家族の名前や顔をおぼえられなくなったら、みんなはどうしますか。

10月30日、花園小学校で認知症の人やその家族が安心して暮らすための「ふくし」の取り組みが行われました。この日は、3年生の子供たちや保護者、愛犬のボランティア、約100人が参加し、ピデオや演劇で、身近な人が認知症になったときに必要で大切なことを学びました。

「向日菜」(高齢の人の相談窓口)の山田美代子さんは、「認知症の方には、みんなのやさしい笑顔が一番の薬になります。やさしく話しかけ、話を聞いてあげてくださいね」と話していました。

「向日菜」(高齢の人の相談窓口)の山田美代子さんは、「認知症の方には、みんなのやさしい笑顔が一番の薬になります。やさしく話しかけ、話を聞いてあげてくださいね」と話していました。

わたしたちは、みんなが楽しく過ごすようを見守りました。橋本さんの感想 目が見えなくて耳が聞こえない以外にもいろいろな障がいがあると知りました。大きな声を出していたので最初はびっくりしたけど、だんだん喜んでくれていたのだなとわかりました。秦さんの感想 若草園を利用している人はみんなとても元気をうけていました。障がいのある人がいた絵などの展示会があると聞いたので、行ってみたいと思いました。



「ふれあい」とは、人と人とのつながりやきずなを大切にして、お互いに声をかけあったり、交流したりすることです。まわりの人と顔をみながら接する関係を大切にしましょう。

ガイド犬とともに挑戦

「ガイド犬」とは、目の不自由な人の生活をサポートしたり、ガイド犬とふれあったり(写真)、サウンドテープルテニス(音をたよりに行う卓球を体験したりしました)。

11月28日、目の不自由な山本美穂さんとガイド犬(身体障害者補助犬)のフェリシアちゃんが、大連小学校に来てくれました。

3年生の35人は、山本さんから「目が見えなくても、やろうと思えば、なんでもできる」と話していました。

山本さんは「目が見えなくても、やろうと思えば、なんでもできる」と話していました。

見たことあるかな? ピクトグラム

これらは「ピクトグラム」というもので、情報や注意してほしいことをひと目でわかるようにしたマークです。

-
-
-
-

知っておこう! 「ふくし」に関する言葉

◆バリアフリー 障がいのある人や高齢の人などの生活に不便なものや危険な段差、特別扱いをする気持ちなど(バリア)を取り除こうという考え方のこと。

◆ユニバーサルデザイン 障がいのあるなしや年齢に関係なく、すべての人が気持ちよく利用できるように考えられた製品や建物などのデザイン。だれもが平等に利用でき、使いやすさやわかりやすいもの。



すべての人が「笑顔」になれるように

「笑顔」は、みんなが安心して暮らすための「ふくし」の取り組みです。知っていることはあったかな？

みんなが安心して暮らすためには、障害のある人や高齢の人、赤ちゃんを育てている人など、いろいろな理由で助けが必要の人がたくさんいます。「ふくし」とは、このように助けが必要な人も、みんなが安心して「笑顔」で暮らせるようにする取り組みや行動のことです。

みんなが安心して暮らすためには、障害のある人や高齢の人、赤ちゃんを育てている人など、いろいろな理由で助けが必要の人がたくさんいます。「ふくし」とは、このように助けが必要な人も、みんなが安心して「笑顔」で暮らせるようにする取り組みや行動のことです。

市立花園図書館
吉田4-7-20
072(965)7700、FAX 072(965)9212
開館時間
月・水・木・金曜日 9時～21時
土・日曜日、祝休日 9時～17時



市立永和図書館(暫定施設)
長堂1-8-37ヴェル・ノール布施3階
06(6781)5500、FAX 06(6784)5630
開館時間
火～金曜日 9時～21時
土・日曜日、祝休日 9時～17時

大連分室 大連北4-3-25 06(6728)0200、FAX 06(6730)7337
開館時間 水・木・土曜日 10時～17時

市立旭町図書館
旭町1-1
072(982)1235、FAX 072(984)6079
開館時間
火・金・土・日曜日 10時～17時
水・木曜日 10時～19時



石切分室 北石切町1-7(石切公民分館内)
072(982)1030 (FAX 兼用)
開館時間 水曜日 10時～17時 日曜日 10時～16時

移動図書館 06(6728)0202、FAX 06(6730)7337
市内を巡回し、図書の貸出しを行っています。巡回表など、くわしくは市ウェブサイトをご覧ください。

府立中央図書館 荒本北1-2-1
06(6745)0170、FAX 06(6745)9232
開館時間 火～金曜日 9時～19時
土・日曜日、祝休日 9時～17時

※子どもだけの来館は17時まで。休館日などは、ウェブサイトでご確認ください。



本を読んでいますか？ 図書館へ行こう！

みんなは、学校の図書館や図書館へ行って、本を借りたり本を読んだりしていますか？
東大阪市内には、花園図書館や永和図書館、旭町図書館や石切図書館分室があります。また、バスに本をいっぱい乗せて市内を順番に回る移動図書館もあります。
これらの図書館には、子どもが見る絵本から大人が読む専門書など約70万冊の本があります。小学生のみんなのための本もたくさん用意しています。
また、借りたい本が見つからないときは、図書館の人に相談すると探してもらえることがありますし、70万冊の中を探している本がない場合は、市外にある図書館から借りてくれたり、購入してくれたりすることもあります。
図書館で本を借りるためには登録が必要なので、初めて行くときは、おうちのひとといっしょに行くようにしましょう。登録すると「利用カード」がもらえるので2回目からはこのカードを持って行く子どもだけでも本を借りることができます。
図書館では、読みたい本が見つからないと思うので、図書館へ一度行ってみてください。
また、市役所本庁舎の隣には、大阪府立中央図書館もあります。こちらの図書館には、190万冊を超える本があります。こちらでもぜひ利用してください。



農業体験プログラム
THREZ 米
子どもたちがお父さんやお母さんなどといっしょに、田植えや稲刈りを体験し、さらにその米を使った料理を作る体験プログラムが6月から12月にかけて行われ16組の家族が参加しました。

1回目の取組は6月で、参加者が水を張った田んぼに入り、一本一本、いいいに苗を植えていきました。この日、初めて田植えを体験した池田智仁さん(6歳)は「ますます植えるのは難しかったですけど楽しかったです。秋の稲刈りもがんばります」と早くも収穫のことを思い浮かべていました。そして10月、待ちに待った稲刈りの日を迎えました。参加した家族は、

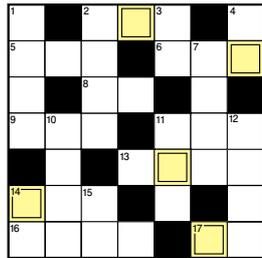
の家族が参加しました。1回目の取組は6月で、参加者が水を張った田んぼに入り、一本一本、いいいに苗を植えていきました。この日、初めて田植えを体験した池田智仁さん(6歳)は「ますます植えるのは難しかったですけど楽しかったです。秋の稲刈りもがんばります」と早くも収穫のことを思い浮かべていました。そして10月、待ちに待った稲刈りの日を迎えました。参加した家族は、

12月には、収穫した米を使った料理教室のほか、米や野菜などの農作物を販売する体験も行われ、身をもって農家や事業者のみなさんのたいへんさを学びました。

自分たちが植えた苗が黄色い液体に輝き、実も大きくなっていくのをうれしそうに見つめていました。その後、自分たちの手でいいいに刈り取って

クロスワードパズルに挑戦!

おうちの人と考えよう。
抽選で50人にエコバッグをプレゼントするよ。



答え
●●●●●●●●●●

<タテのカギ>と<ヨコのカギ>を解いて、カギと同じ数字の書いてあるマスから1文字ずつ埋めてください。最後に、色のついたマスの文字を組み合わせてできる言葉が答えです。

ハガキにクイズの答え、「すくらむ」の感想と今後取りあげてほしいこと、住所、氏名、学校名、学年、電話番号を書いて、来年1月30日(必着)までに郵送して

応募先 〒577-8521 市役所広報課
06(4309)3102
FAX 06(4309)3821
koho@city.higashiosaka.lg.jp

- <タテのカギ>
①料理をするときに包みといっしょに使う板。
②姿、かっこうのこと。「モデルさんは●●●●●がよい」
③雨の白にこれを忘れると、びしょになります。
④大阪府の東にある県。お寺や神社がたくさんあり、鹿が習習です。
⑦自分の行動に間違いがなかったか振り返り、改めようと心かけること。
⑩みんなが住んでいる市は「ひがし●●●●●市」です。
⑪空気を入れ換えること。「部屋を●●●●●する」
⑫宇宙から地球に降ってくる物体。
⑬主や敵に自甘として埋める糧。また、覆れている者が他方から糧まれ、じゃまされるということわざ「出る●●●は打たれる」
⑮森などに生息する小さな動物で、木の葉が大好き。

- <ヨコのカギ>
②皮が緑色で甲が赤い夏の代表的な食べ物。
⑤近鉄けいはんな線と地下鉄中央線をつないでいる●●●●●駅。荒本駅と高井田駅の間にあります。
⑥世界最大の砂漠は、アフリカにある「●●●●●砂漠」
⑧学校でみんなが勉強するときに座るもの。
⑨お風呂に入ったあとに体をふくのは「バス●●●●●」
⑩地球のすぐ外を回り、景色に驚いて見える惑星。
⑬広島県や岡山県のあたりを山陽地方、尾道地方や鳥取県のあたりを●●●●●地方といわれています。
⑭金属製の輪をつなぎあわせたもの。「●●●●●かたばら」など。
⑯イカが敵から逃げるために口から出す黒い液体。スパゲッティなどの料理にも使います。
⑰時間はおおとく筒じくらくい天切で無駄にしてはいけない、という意味のことわざ「●●●は釜なり」